

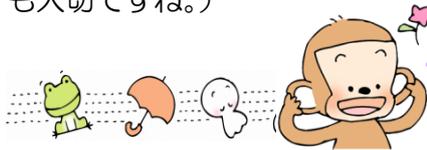


みみだより No.25

鳥取聾学校ひまわり分校 聴能担当 R3.6.17

文責：松本

今年は、はやい梅雨入りとなりました。この時期に気をつけたいことの1つが外耳道の傷です。「耳がムズムズする～」と耳に指を入れて爪で傷つけてしまうと、汗や湿気で傷が治りにくく、不快感が増す！傷がジュクジュクしてイヤモールドがつけられない！なんてことにもなります。耳の中が気になるようでしたら、耳鼻科で相談してみましよう。(イヤモールドを清潔に保つことも大切です。)



オーディオグラムの見方を 知ろう！その②



聴力測定値は、きこえる最も小さな音の大きさ(閾値)を表しています。右の記録用紙からきこえの状態を考えてみましょう。

【装用閾値】補聴器または人工内耳をつけたときのきこえの閾値。

▲両耳装用 ▲右耳装用 ▲左耳装用 (ひまわり分校での表し方)

【裸耳】補聴器または人工内耳を外した状態でのきこえの閾値。

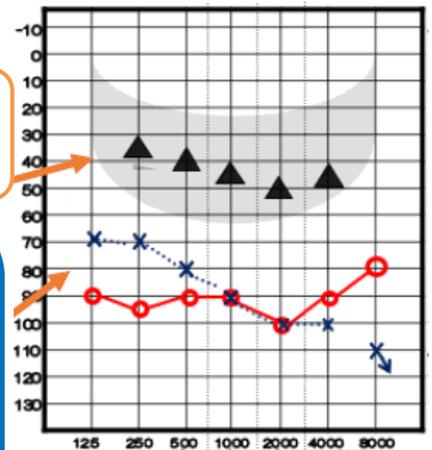
○右裸耳 ×左裸耳 [右骨導] 左骨導

※各値を右は実線 — 左は点線 で結ぶ。(骨導値は結びません。)

※オーディオメーターで出せる一番大きな音がきこえなかったときは

「スケールアウト」といい、矢印をつける。

※ヘッドフォン使用をしない場合 ▲両耳裸耳



◎測定の結果

平均聴力レベルを求めてみましょう。(みみだよりNo.7、前号No.24を参考にしながら読んでください。)

平均聴力は $(500\text{Hz} + 1000\text{Hz} \times 2 + 2000\text{Hz}) \div 4$ で計算します。上のオーディオグラムの左耳の平均聴力レベルは、 $(80 + 90 \times 2 + 100) \div 4 = 90$ 90dB となります。

また、補聴器をつけた状態の装用値(▲)はスピーチバナナの間にのおおむね入っています。

しかし、2000Hzと4000Hzのところ、帯のぎりぎりのラインになっており、やや高音がききづらいことがわかります。

さらに詳しく見てみると4000Hzの装用値が45dBなので、補聴器を装用した状態でも、「さ行・か行・ふ」などの音がきき取りづらいことがわかります。まわりの大人が話をするときには、この音に気をつけながら、発音し、正しくきき取れているか確認をしていくとよいですね。

※裏面のオーディオグラムにお子さんの測定結果を記入してみましょう。

ワンポイント 手話



「靴下」

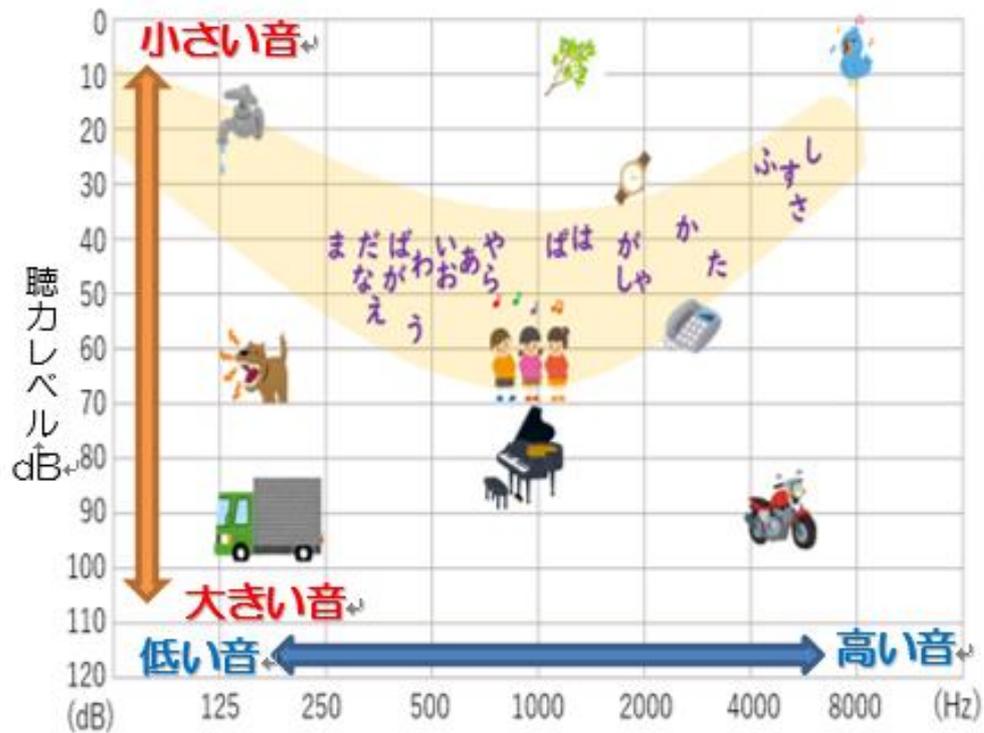


「靴」

「おやこ手話じてん」より



◎ 聴力測定の結果を記入してみましょう◎



○裸耳(右左)の平均聴力レベルは何dBですか？

右()dB 左()dB

○補聴器・人工内耳装用時の平均聴力レベルは、何dBですか？

右()dB 左()dB

○生活音や日本語の音(スピーチバナナ)の聞こえ方はどうでしょうか？